

留学生の声エッセイ 経済学部 クラーリック・ジョーフィア・エンマ

ここに到着してからほぼ5ヶ月が経ち、私は積極的に思い出として残る瞬間を作り出し、滞在をできるだけ豊かにするために努力してきました。JISTと国際交流センターのサポートのおかげで、学校環境内外の私の経験は本当に素晴らしいものとなりました。バス旅行、賑やかなクリスマスパーティー、そしてJISTを通じて築いた素晴らしい友情は、全体の経験を著しく向上させ、それを指数関数的に充実させました。ここに来る前の期待を振り返ると、独立して生活すること、様々な料理を楽しむこと、有意義な友情を築くこと、新しい場所を探索することなど、これらの抱負のほとんどを成功裏に達成したことを誇りに思います。

一人での生活は自己発見をもたらし、地元の美味しい料理は喜びであり、新たな友達との絆は心温まり、様々な場所の探索は私の文化理解を広げました。これから先を見据えると、今後の数か月での冒険の可能性に興奮し、ここでの私の時間の生き生きとした物語に新たな章を加えることを心待ちにしています。他国への一人旅は、特に世界の反対側であるならば、かなり挑戦的なこととなります。だからこそ、JISTのサポートが心地よいものでした。また、中国、スロベニア、ポーランド、マレーシアなど、さまざまな国の留学生との出会いを通じて文化の違いを学ぶことは、人々と結びつけることとなりました。



奈良の鹿たちと仲良くなりました

家族と過ごすクリスマスが当たり前だった私にとって、家族なしで過ごすホリデーはユニークなことでした。ですが、城西大学という新たな家族と友人たちと過ごしたクリスマスは忘れられません。

城西大学経済学部では、ゼミで日本人の学生と熱心に討論し、国際関係やグローバル政治のクラスで新たな視点を広げ、日本語クラスで着実に語学力を伸ばしました。12月に日本語能力試験N3に合格できたのも嬉しかったです。

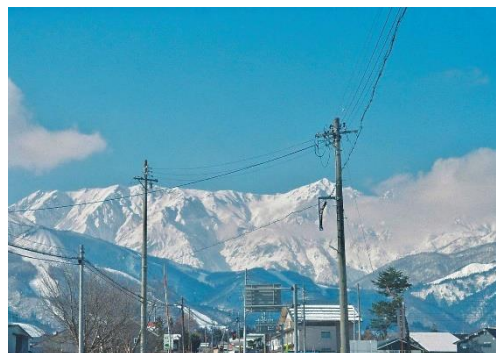
現在、経済学部に在籍しているから、多くの興味深い授業に参加できました。ゼミでは日本の学生と交流でき、国際関係やグローバルポリティクスの授業も興味深く、日本語の授業も含めて、多岐にわたる学びがありました。



富士の双子

家族と過ごすクリスマスが当たり前だった私にとって、家族なしで過ごすホリデーはユニークなことでした。ですが、城西大学という新たな家族と友人たちと過ごしたクリスマスは忘れられません。

家族と過ごすクリスマスが当たり前だった私にとって、家族なしで過ごすホリデーはユニークなことでした。ですが、城西大学という新たな家族と友人たちと過ごしたクリスマスは忘れられません。



白馬のきれいな景色



道頓堀のグリコサインの前で

学校主催の旅行以外にも、様々な場所を訪れ、日本文化をより深く体験することができました。城西大学で知り合った素晴らしい友達と一緒に白馬へスキーに行ったり、箱根で初めて温泉に入ったり、京都、奈良、大阪で日本の別の一面を体験したりしました。これらの経験は、城西大学とブダペスト商科大学（BBS）の先生たちのサポートがなければ実現できなかったでしょう。

残り6ヶ月間もまだ楽しみがたくさん待っています。城西大学とブダペスト商科大学（BBS）のおかげで築かれた基盤に感謝しながら、このユニークな人生の一部を存分に楽しんでいくことを楽しみにしています。